

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山下隆

山名	観音峰	山行名	個人山行			
ルート	観音峰往復(奈良みたらい溪谷のそば) 観音峰登山口⇄観音平展望台⇄観音峰					
山行日	2016. 2. 11	天候	晴			
参加者	リーダー：小川弘二 サブリーダー：中田繁男 藤村、広瀬、岡本、山下 合計：6名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	京田辺	着	7：00	神社跡 (大岩)	着	13:58
		発			発	14:04
	観音峰登山口	着	9:15	登山口	着	14:50
		発	9:32		発	15:06
	観音平展望台 (大石碑)	着	11:00	京田辺	着	
		発	11:47		発	
観音峰	着	12:25		着		
	発	13:00		発		
観音平展望台	着	13:27		着		
	発	13:42		発		
今年は暖冬と早々と予想されていて、予想通り雪は少ない。昨新春の京都は雪が多く、恒例の愛宕山参りも中止になるも、今新春は雪の跡形も無かったようだ。当初の計画では1/30日の計画だったが、雨と爆弾低気圧の到来で中止とした。晴が期待出来る2/11に急ぎょ変更し、都合のつく者だけで実施した。「多少の雪は残っている」情報とか、当日は登山口では-4℃に冷え込む予想もあり、霧氷に会えるかと期待する。小川さんの好意で車を出してもらい、参加者をそれぞれピックアップし、7時にJAを出発する。天川近くになってようやく道路脇に片付けられた雪の塊がある。登山口駐車場は広く、残雪が少しある。雲一つない青空を仰ぎ、今日の幸運に感謝しつつ出発。トイレと休憩所の間からすぐのつり橋を渡り、登山開始。つり橋上は凍っているようなのでアイゼンを装着する。植林地帯の西斜面のジグザク道を登る途中の道々は雪が少し残るも軽アイゼンで十分だ。途中ブナ林もあり、運がよければ霧氷の林だが、気温も上がってきて、霧氷どころではなく、衣服は2枚で十分だ。今日のメダマの大展望台に着く。山上ヶ岳・大日山・稲村ヶ岳・・・弥山・八経ヶ岳の大展望が望まれた。正面の稲村ヶ岳は雪色におおわれているが、色々な青色に染められた奥駆け道の展望を楽しみつつ、早めの昼食となる。去年の明神平と同じく殆ど風もなく、雲一つない。昼食後、急な登りのコブをあえぎながら切り切ると、観音峰まではなだらかなブナ林で歩き易い。観音峰の展望はもうひとつ。観音峰→法力峠→洞川温泉まで縦走するか相談するも、時間的に無理と判断し、観音峰から少し行った所で引換して登山口に戻った。下りではぬかるみも一部あったが、安全確保のため、登山口までアイゼンをつけて下った。今日は天気もよく祝日でもあったので、ほどほどの人出だった。来シーズンは寒い冬を期待したい。100円ショップで滑りシート用意していくと楽しみも倍増するようだ。						
ヒヤリハット ありません						

